

JA lake ibuki

# Management Plan

## 第9次中期経営計画書

令和7年度～令和9年度



# JA 綱領

## — わたしたち JA のめざすもの —

わたしたち JA の組合員・役職員は、協同組合運動の基本的な定義・価値・原則（自主、自立、参加、民主的運営、公正、連帯等）に基づき行動します。そして、地球的視野に立って環境変化を見通し、組織・事業・経営の革新をはかります。さらに、地域・全国・世界の協同組合の仲間と連携し、より民主的で公正な社会の実現に努めます。

このため、わたしたちは次のことを通じ、農業と地域社会に根ざした組織としての社会的役割を誠実に果たします。

わたしたちは

1. 地域の農業を振興し、わが国の食と緑と水を守ろう。
1. 環境・文化・福祉への貢献を通じて、安心して暮らせる豊かな地域社会を築こう。
1. JA への積極的な参加と連帯によって、協同の成果を実現しよう。
1. 自主・自立と民主的運営の基本に立ち、JA を健全に経営し信頼を高めよう。
1. 協同の理念を学び実践を通じて、共に生きがいを追求しよう。

# J A レーク伊吹 経営理念

組合員とともに農業・地域の未来を拓き、  
食と農を基軸として地域に根ざした協同  
組合の役割を発揮し、総合事業の展開に  
より、心豊かに暮らせる地域づくりに貢  
献し、必要とされる J A を目指します。

## Contents

|                           |    |
|---------------------------|----|
| ●第9次中期経営計画策定にあたって         | 1  |
| ●第8次中期経営計画（令和4年度～令和6年度）総括 | 2  |
| ●基本方針                     | 4  |
| ●地域農業振興計画                 | 7  |
| ●地域くらし・組織基盤計画             | 14 |
| ●経営基盤の強化                  | 19 |
| ●人づくり計画                   | 24 |
| ●主要事業計画                   | 27 |
| ●総合損益計画                   | 28 |
| ●自己改革工程表                  | 29 |

# 第9次中期経営計画策定にあたって（経営指針）

平素は、JAレーク伊吹の事業運営に対しまして、格別のご理解とご協力を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

JAレーク伊吹をとりまく環境は、地域農業では農家所得の減少と農家組合員の高齢化により、近い将来、突然・一斉に農業者が引退し地域農業の担い手が不足する危機が訪れようとしており、次世代への地域農業の継承が求められています。また、組合員の高齢化・世代交代という大きな課題があり、特に若者の「JAの存在意義」や「JAへの関心」が薄れてきており、組織・事業基盤の弱体化が懸念されます。併せて、JA事業の原動力となる職員数の減少が続いており、人手不足が顕在化する状況にあります。

こうした中、組合員の皆様とJAレーク伊吹が将来の目指す姿を実現するため、向こう3年間の基本方針を示す中期経営計画を策定いたしました。

第9次中期経営計画は、第30回JA全国大会決議「組合員・地域とともに食と農を支える協同の力～協同活動と総合事業の好循環～」を踏まえ、2024年滋賀県JA大会において決議されたJAが組合員と地域にとってなくてはならない存在であり続けるため、次の10年に向かって挑戦するめざす姿として「持続可能な農業の実現」「豊かでくらしやすい地域共生社会の実現」「協同組合としての役割発揮」を横断的に取組み、4つの基本方針を掲げその実現に取り組んでまいります。

## 【基本方針】

- 1.地域農業継承への挑戦
- 2.JAの活動・事業を通じた仲間づくり
- 3.JAの使命を果たすための経営基盤の確立
- 4.将来を支える人財育成と働きやすい職場づくりの実践

これからも、「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」として、将来にわたり地域や組合員の皆様から必要とされる組織づくりに向け、役職員一体となって取り組んでまいりますので、より一層のご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

令和7年6月21日



経営管理委員会会長  
中尾 一則



代表理事理事長  
谷口 由行

# 第8次中期経営計画(令和4年度～令和6年度)総括

## 1 農家組合員の所得増大と農業生産の拡大を目指す「持続可能な食料・農業基盤の確立」

地域農業は、農業従事者の高齢化や後継者不足が本格化し、農業就業人口が大きく減少していることから、持続可能な農業者の生産基盤確保のため、行政と一体となり担い手の確保や農地の集積の支援を進めるため、「地域計画」の策定にあたっては両市合わせて142集落・99%の策定支援を行いました。

肥料価格高騰にともない生産資材費の削減に向け、土壌診断や低コスト資材の普及推進などの取組みに加え、肥料価格高騰対策の申請支援（令和4年度～令和5年度国県費含む支援総額：5,384万円）や、農産物価格の下落や生産原価の高騰に直面している農家組合員を支援するため、令和5年度に過去の剰余金処分により積み立てていた農業経営支援積立金を取り崩して総額1,096万円の農業経営支援を実施し、農家組合員の所得増大に取組みました。

安心して栽培ができる販売環境と生産者所得の最大化を図るため、業務用多収性品種による契約生産の実践など生産販売マッチング強化に取り組んできましたが、令和6年産米については全国的にコメの需要に対して供給が不足している状況となり、販売先との事前契約に基づいた安定供給を行うことが出来ない状況となりました。

実需者が求める麦・大豆の生産・販売については、小麦では「びわほなみ」への全面品種転換を推進し、高品質で多収性の品種特性を発揮するため、地域毎の栽培普及指導により品質を高め、令和6年産麦での品質評価ランクは小麦では初めてAランクに格付けされるなど、生産者所得の向上に取り組めました。

水田野菜の生産振興においては、県内最大産地として形成されたタマネギとブロッコリーを始め、白ねぎについては加工業務用向けを中心に近隣JAと一体となった「北近江野菜」ブランドの確立を行い、新たに冷蔵コンテナや野菜集出荷トラックの導入により有利販売と生産振興を行いました。

多様な農業者への営農相談機能の充実を図るため、経営規模に応じた出向く営農経済渉外活動に加え、スマートフォンの利用拡大により、令和6年度より公式LINEを開設し迅速な営農情報の発信を行いました。

## 2 地域の活性化を目指す「持続可能な地域・暮らし・組合員組織基盤の確立」

組合員の高齢化、世代交代、正組合員減少等により、組合員数は減少傾向となりました。そのような中、准組合員総代の研修会を開催することでアクティブ・メンバーシップ強化に取り組めました。また、組合員の意思反映として、広報誌「ふれあい」を活用し意見・要望を募り、さらに地区別懇談会と総代会資料にはご意見・ご質問の記入用紙を同封し、広くご意見を求め、広報誌の紙面、書面にてご意見やご質問に回答しました。

金融面では、信用事業で専任担当者による住宅ローン営業強化や貸出システム導入によるペーパーレス化を図りました。また、資産運用や資産継承など多様化するニーズに対し適切に対応できるよう金融商品・サービスの拡充と相談機能の強化を図りました。共済事業では、全職員による一斉推進からLA、スマイルサポーターの専門的知識を有する職員の推進体制へと変更し、「ひと・いえ・くるま・農業」の万全な保障提供を行いました。

また、支店を核とした「支店協同活動」で地域イベントの参加や食農教育体験を行うことにより地域に密着した支店づくりを実践しました。ヨガ教室の定期開催や料理教室、フラワーアレンジメント教室等を開催し、女性部組織の活性化を図り、食農教育では収穫体験等を実施し、食と農の大切さを伝える食農教育に取り組めました。健康増進活動として、JA健診活動の普及活動を行いました。さらには、米原市・長浜市を通じて防災備蓄品の寄贈や米の協賛等をさせていただくなど地域貢献活動に取り組んでまいりました。

### 3 不断の自己改革の実践を支える経営基盤の強化

厳しい経営環境の中、将来にわたり安定した事業運営を可能とする経営基盤の強化として、金融移動店舗車の廃止、北部荷受センターの稼働中止、伊吹資材センターの営業中止を行い、事業管理費の削減を図りました。

令和5年7月の次期情報システム更改によるペーパーレス化対応や公用車の削減等による事業管理費の圧縮を図りました。また、信用事業では、営業店システム導入による事務の効率化により収支改善に取り組みました。

経済事業の収支改善については、令和3年度から3か年で開始した「営農・経済事業の成長・効率化プログラム」の取組みとして、営農指導体制の再構築・LPガス事業譲渡・購買事務の効率化・施設利用事業の収支改善やJA間連携の強化などにより、3か年の取組み効果額として1億1800万円の事業効果を上げることが出来ました。

信頼される組織を目指して、内部統制システムの整備・運用を行い、内部監査により内部統制の適切性・有効性の検証を行いました。

人材の確保及び育成面では、職員採用への応募者数減少や離職者対策として、就職サイトを積極的に活用した職員募集、オープンカンパニーの開催による採用活動の早期化、職員のエンゲージメント向上に向けた研修会を実施しました。

#### 【損益の推移】

(単位：千円)

|          | 令和4年度     | 令和5年度     | 令和6年度     |
|----------|-----------|-----------|-----------|
| 信用事業総利益  | 768,415   | 740,092   | 729,683   |
| 共済事業総利益  | 472,926   | 415,360   | 406,505   |
| 購買事業総利益  | 93,486    | 65,291    | 77,007    |
| 販売事業総利益  | 90,475    | 88,593    | 109,655   |
| 利用事業総利益  | 88,118    | 81,974    | 93,318    |
| その他事業総利益 | 6,938     | 2,174     | △1,098    |
| 事業総利益計   | 1,520,360 | 1,393,486 | 1,415,072 |
| 事業管理費    | 1,376,067 | 1,329,892 | 1,319,272 |
| 事業利益     | 144,292   | 63,593    | 95,800    |
| 当期剰余金    | 177,886   | 130,183   | 153,921   |



柏原小学校田植体験



長浜北幼稚園「夢プロジェクト」新米パーティー

# 組合員・地域とともに 食と農を支える協同の力

～ J A の使命を果たすための事業改革～

## 基本方針

第9次中期経営計画は、「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」として「組合員・地域とともに食と農を支える協同の力～JAの使命を果たすための事業改革～」をテーマとして、次の基本方針を掲げました。

### 1 地域農業継承への挑戦

農家組合員の所得確保・増大に向けた取組みの実践や農村を維持する多様な担い手に対する営農継続の支援を実践します。

### 2 JAの活動・事業を通じた仲間づくり

組合員・利用者のくらしを軸とした総合事業の展開により、JA利用を通じた仲間づくりで、協同の力で豊かでくらしやすい地域共生社会の実現に貢献します。

### 3 JAの使命を果たすための経営基盤の確立

将来にわたってJAが使命を果たしていくための事業改革の実践として継続的な収支改善に取り組めます。

### 4 将来を支える人財育成と働きやすい職場づくりの実践

経営環境の変化に対応できる人づくりを行うため、人財を「資本」として捉え、その価値を最大限に引き出すことで、地域や組合員に必要とされる職員の育成に取り組めます。

# 「食と農を基軸として地

### 地域農業継承への挑戦

- 農家組合員の所得増大
- 地域農業の持続的発展に向けた農業基盤の確立
- 大規模経営体との継続した関係づくりの強化
- 次世代をつなぐ青年部組織の活性化

- 働きやすく支え合う職場づくりの実践
- JA 経営・協同組合運動を支える人財育成の実践
- 人財確保難における人事制度の確立

### 将来を支える人財育成と働きやすい職場づくりの実践



# 域に根ざした協同組合」

## JAの活動・事業を通じた仲間づくり

- JA 利用を通じた「JA の仲間づくり」の実践
- JA 広報活動を通じた JA 理解促進の実践
- JA 女性組織の活性化と JA 運営への参加促進
- 暮らしを軸とした総合事業の展開

2

地域暮らし・  
組織基盤計画

3

経営基盤  
の強化

- 持続可能な経営基盤の確立と事業改革の実践
- デジタル活用による事業の効率化の確立
- 信頼される組織・運営の実践

## JAの使命を果たすための経営基盤の確立

# 1 地域農業振興計画

地域農業を取り巻く環境は、農家組合員の高齢化により基幹的農業従事者が減少している一方で、大規模経営体への農地集積が加速化され農業構造が二極化しております。今後、一斉にやってくる農業者の引退により地域農業の担い手不在の危機が迫っていることから、行政や関係機関と一体となり、農村を維持する多様な担い手への営農継続支援により、地域農業の継承に向け地域農業の振興に取り組んでまいります。

食料・農業・農村基本法の改正により、食料安全保障の確保に向けJAとしての基本理念である農産物の生産振興と安定供給による貢献に取り組んでまいります。

また、農家組合員の所得増大に向け、需要のある農産物の生産から販売までのマッチング強化や、生産コスト抑制に向けた生産資材・栽培技術や共同利用施設の有効活用などの提案により、多様な担い手への営農継続支援に取り組んでまいります。

園芸作物の生産振興では、加工業務用野菜を中心とした生産振興と「北近江野菜」ブランドの確立による販売促進により、農家所得の増大を行います。

大規模経営体への総合力を生かした事業提案活動の強化や労働力支援の取組みにより、継続した関係づくりと、次世代をつなぐ青年部組織の活性化に取り組めます。

## 1 農家組合員の所得増大

### ▶ 需要に応じた農産物づくりと水田フル活用の推進

主食用米の出荷契約に基づいた販売先との事前契約による買取販売方式の実践と播種前契約に基づく麦大豆や水田活用米穀による水田フル活用を推進します。

| 目標(集荷目標) | 令和6年度実績 | 令和7年度  | 令和8年度  | 令和9年度  |
|----------|---------|--------|--------|--------|
| 主食用米     | 2,994ト  | 3,000ト | 3,600ト | 3,900ト |
| 水田活用米穀   | 349ト    | 250ト   | 250ト   | 250ト   |
| 飼料用米     | 580ト    | 450ト   | 450ト   | 450ト   |
| ファイバースノウ | 431ト    | 400ト   | 430ト   | 450ト   |
| びわほなみ    | 704ト    | 800ト   | 900ト   | 1,000ト |
| 大豆       | 168ト    | 250ト   | 350ト   | 450ト   |

### ▶ 収入(量・単価)の拡大と支出(コスト)抑制への取組み強化

#### ① 農作業の省力化と労働力の分散に向けた生産技術の検証

繁忙期における省力化と労働力の分散に向け水稲乾田直播の生産技術の検証と普及を行います。

| 目標                       | 令和6年度実績 | 令和7年度                     | 令和8年度                    | 令和9年度                    |
|--------------------------|---------|---------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 水稲乾田直播<br>生産技術の<br>検証・普及 | —       | 実証圃設置<br>生産技術検証<br>(10ha) | 大規模経営体<br>への実証<br>(15ha) | 大規模経営体<br>への普及<br>(20ha) |

## ②需要のある業務用米の作付提案による産米の生産販売マッチング強化

需要のある業務用米の作付提案と生産販売マッチング強化を推進します。

| 目標(集荷目標)          |       | 令和6年度実績 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 |
|-------------------|-------|---------|-------|-------|-------|
| 多収性<br>業務用<br>品 種 | ほしじるし | 230㍓    | 300㍓  | 400㍓  | 500㍓  |
|                   | きぬむすめ | 67㍓     | 90㍓   | 100㍓  | 120㍓  |
|                   | ZR1   | 11㍓     | 30㍓   | 60㍓   | 100㍓  |

※「ZR1」は、全農と農研機構とが共同で開発した新品種で、耐倒伏性があり、病害に強く、多収で良食味の早生品種です。

## ③麦類(大麦・小麦)の多収に向けた取組み

定期的な栽培研修会を開催するとともに、リアルタイムな生育情報・病虫害情報の発信による1等比率の向上と単収の向上に取組みます。

| 目標               |      | 令和6年度実績    | 令和7年度      | 令和8年度      | 令和9年度      |
|------------------|------|------------|------------|------------|------------|
| ファイバースノウ<br>(大麦) | 単収   | 234kg/10a  | 250 kg/10a | 300 kg/10a | 350 kg/10a |
|                  | 1等比率 | 84%        | 85%        | 85%        | 85%        |
| びわほなみ<br>(小麦)    | 単収   | 181 kg/10a | 200 kg/10a | 250 kg/10a | 350 kg/10a |
|                  | 1等比率 | 88%        | 90%        | 90%        | 90%        |

## ④極多収大豆品種の作付提案と栽培技術の確立

農研機構が開発した極多収大豆品種の作付提案と栽培技術の確立を行います。

| 目標(集荷目標) | 令和6年度実績 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 |
|----------|---------|-------|-------|-------|
| そらたかく    | 1.8㍓    | 15㍓   | 30㍓   | 60㍓   |

※「そらたかく」は、農研機構が開発した収量が高い米国品種と加工適性が高い日本品種との交配により、既存の品種と比較して5割以上の多収が見込まれる新品種です。

## ⑤肥料等の銘柄集約による低価格な生産資材の拡張

肥料の全国・県域銘柄集約による低価格な生産資材によるコスト低減を推進します。

| 目標                   | 令和6年度実績 | 令和7年度   | 令和8年度   | 令和9年度   |
|----------------------|---------|---------|---------|---------|
| 全国銘柄集約による低価格生産資材の取扱い | 6,000袋  | 6,500袋  | 7,000袋  | 7,500袋  |
| 県域銘柄集約による低価格生産資材の取扱い | 23,000袋 | 26,000袋 | 27,000袋 | 28,000袋 |

## ⑥農薬の大型規格提案によるコスト低減

大型規格や超大型規格農薬の提案によるコスト低減を推進します。

| 目標                   | 令和6年度実績 | 令和7年度   | 令和8年度   | 令和9年度   |
|----------------------|---------|---------|---------|---------|
| 大型・超大型規格農薬<br>普及換算面積 | 1,128ha | 1,250ha | 1,300ha | 1,350ha |

# 1 地域農業振興計画

## ⑦水田自動給水機の普及拡大による作業時間の削減

水田自動給水機の普及拡大による作業時間の削減を推進します。

| 目標              | 令和6年度実績 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 |
|-----------------|---------|-------|-------|-------|
| 水田自動給水機<br>普及台数 | 31台     | 35台   | 45台   | 55台   |

## ▶需要のある園芸作物の生産振興

### ①信頼される加工業務用野菜を中心とした産地づくりと新たな品目による生産振興

販売先とのマッチングを行い契約数量の増大と、新たな加工業務用野菜の生産振興を行います。

| 目標(集荷目標) | 令和6年度実績 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 |
|----------|---------|-------|-------|-------|
| タマネギ     | 570トン   | 650トン | 700トン | 750トン |
| ブロッコリー   | 116トン   | 100トン | 120トン | 150トン |
| 白ねぎ      | 50トン    | 90トン  | 100トン | 120トン |
| トレビス     | 2トン     | 3トン   | 4トン   | 5トン   |



### 〈トレビス〉

ヨーロッパ原産のキク科の野菜で、ワインレッド色の葉に白い葉脈が入り、シャキシャキとした歯触りとほろ苦さが特徴で、さっぱりとしているため、肉料理のつけ合わせなど国産志向の高まりにより注目される野菜です。



### ②多様な担い手による「花卉」の生産振興

定年帰農者や新規就農者など多様な担い手への新規生産者への拡充による生産振興に取り組めます。

| 目標(集荷目標)         | 令和6年度実績 | 令和7年度    | 令和8年度    | 令和9年度    |
|------------------|---------|----------|----------|----------|
| プチマム(短茎小菊)       | 90,000本 | 100,000本 | 110,000本 | 120,000本 |
| 切り花ハボタン・<br>リンドウ | 46,000本 | 48,000本  | 55,000本  | 70,000本  |

### ③「みおしずく」の新規取組者の拡充と生産振興

県の育成品種「みおしずく」のブランド力を生かした有利販売により生産振興に取り組めます。

| 目標   | 令和6年度実績 | 令和7年度  | 令和8年度  | 令和9年度  |
|------|---------|--------|--------|--------|
| 生産者数 | 10人     | 13人    | 14人    | 15人    |
| 栽培面積 | 3,000㎡  | 4,800㎡ | 6,000㎡ | 7,500㎡ |

#### 〈みおしずく〉

滋賀県初のオリジナルいちご品種です。  
最大の魅力は適度な酸味で際立つさわやかな甘み。フローラルな香りや、大粒で明るい赤色の見た目も特徴です。



## 2 地域農業の持続的発展に向けた農業基盤の確立

### ▶ 地域農業の多様な担い手への営農継続支援

#### ① 記帳代行サービスの普及とサービスを活用した経営分析診断による支援

記帳代行サービスの普及とサービスを活用した経営分析診断による支援を行います。

| 目標               | 令和6年度実績 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 |
|------------------|---------|-------|-------|-------|
| 記帳代行サービス<br>普及拡大 | 6経営体    | 6経営体  | 7経営体  | 8経営体  |

#### ② 農業機械銀行の利用普及による農業者の営農継続支援

農業機械銀行による水稻基幹作業やドローンを用いた防除作業など農業者の営農継続支援を行います。

| 目標                | 令和6年度実績 | 令和7年度   | 令和8年度   | 令和9年度   |
|-------------------|---------|---------|---------|---------|
| 農業機械銀行<br>受委託延べ面積 | 146ha/年 | 155ha/年 | 160ha/年 | 170ha/年 |

# 1 地域農業振興計画

## ③農地の集約化を支援し効率的な農業基盤の確立による生産性向上

関係機関と連携し中間管理機構を通じた農地利用調整により効率的な農業基盤の確立を推進します。

| 目標                     | 令和6年度実績 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 |
|------------------------|---------|-------|-------|-------|
| 関係機関と連携した<br>中間管理機構集積率 | 36%     | 40%   | 45%   | 50%   |

※「中間管理機構集積率」とは、管内の耕地面積に占める、中間管理機構への賃貸借契約面積の割合を示します。

## ④行政と一体となった農村を維持する将来の地域農業の在り方検討への支援

行政と一体となり農業法人や集落営農組織が将来の地域農業の姿の検討できるネットワークを確立します。

| 目標                                         | 令和6年度実績            | 令和7年度            | 令和8年度             | 令和9年度             |
|--------------------------------------------|--------------------|------------------|-------------------|-------------------|
| 行政と一体となった<br>地域農業の在り方を<br>検討する<br>ネットワーク作り | 一部の地域で<br>ネットワーク確立 | 地域毎の<br>ネットワーク作り | 地域毎の<br>ネットワークの確立 | 地域毎の<br>ネットワークの確立 |

## ▶環境負荷軽減対策の取組み強化

### ①温室効果ガスの削減に向けた取組み支援

秋耕と2週間以上の長期中干しの普及により温室効果ガスの削減を行います。

| 目標                        |                                  | 令和7年度          | 令和8年度          | 令和9年度          |
|---------------------------|----------------------------------|----------------|----------------|----------------|
| 秋耕の普及推進<br>(出荷契約面積実施率)    | 水稻作付面積の<br>61.5%<br>(2022年滋賀県調査) | 出荷契約面積の<br>30% | 出荷契約面積の<br>50% | 出荷契約面積の<br>70% |
| 長期中干しの普及推進<br>(出荷契約面積実施率) | 水稻作付面積の<br>37.0%<br>(2022年滋賀県調査) | 出荷契約面積の<br>50% | 出荷契約面積の<br>60% | 出荷契約面積の<br>80% |

※秋耕・長期中干しを行うことにより、水田から発生するメタン排出を削減でき農林水産業のCo2ゼロエミッション化の実現につながります。

### ②マイクロプラスチック削減に向けた被覆レス緩効性肥料の普及推進

マイクロプラスチック削減に向けた緩効性肥料の普及推進や、新たなノンプラスチック被覆肥料の実証検証を行います。

| 目標                    |    | 令和6年度実績 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 |
|-----------------------|----|---------|-------|-------|-------|
| 被覆レス緩効性<br>肥料への普及推進   | 水稻 | 実証試験    | 一部切替  | 一部切替  | 一部切替  |
|                       | 大豆 | 実証試験    | 全面切替  | 全面切替  | 全面切替  |
| ノンプラスチック<br>被覆肥料の実証検証 | 水稻 | —       | —     | 実証試験  | 実証試験  |
|                       | 大豆 | —       | —     | 実証試験  | 実証試験  |
|                       | 麦  | —       | —     | —     | 実証試験  |

※「被覆レス緩効性肥料」とは、従来のプラスチックを用いた被覆尿素から緩効性肥料（ウレアホルム）に置換えた肥料となりマイクロプラスチックを排出することはありません。

※「ノンプラスチック被覆肥料」とは、環境に配慮した素材を使用した肥効調節型肥料で肥料メーカーによる研究開発が進められており、数年後の販売を見込んでおります。

### 3 大規模経営体との継続した関係づくりの強化

#### ▶大規模経営体への事業提案活動の強化

##### ①大規模経営体への訪問体制の強化

農業生産法人担当の設置や1経営体複数人担当による提案活動の強化を行います。

| 目標                      | 令和6年度実績 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 |
|-------------------------|---------|-------|-------|-------|
| 農業生産法人<br>担当者の設置        | —       | 体制整理  | 体制実践  | 体制強化  |
| 1経営体複数人担当<br>による提案活動の強化 | —       | 体制整理  | 体制実践  | 体制強化  |

##### ②大規模経営体から販売先への直送による新たな集荷対策の提案

大規模経営体から販売先への直送による新たな集荷対策の提案を行います。

| 目標                    | 令和6年度実績 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 |
|-----------------------|---------|-------|-------|-------|
| 販売先への直送による<br>新たな集荷対策 | —       | 1経営体  | 2経営体  | 4経営体  |

##### ③大規模経営体のニーズに対応した施設の有効活用の提案

大規模経営体のニーズに対応した施設の有効活用の提案を行います。

| 目標                              | 令和6年度実績 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 |
|---------------------------------|---------|-------|-------|-------|
| 閑散期利用による<br>カントリーの有効活用          | 1経営体    | 2経営体  | 3経営体  | 4経営体  |
| 規模拡大と作業効率を<br>優先した育苗センター<br>の利用 | 2経営体    | 2経営体  | 3経営体  | 4経営体  |

#### ▶農業労働力支援に向けた取組み強化

##### ①農業求人アプリの利用促進による農業労働力支援

農業求人アプリを利用した農業者と雇用者とのマッチングにより農業労働力支援を行います。

| 目標                | 令和6年度実績 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 |
|-------------------|---------|-------|-------|-------|
| 農業求人アプリ<br>登録経営体数 | 8経営体    | 10経営体 | 12経営体 | 15経営体 |
| 雇用マッチング件数         | 8件/年    | 30件/年 | 36件/年 | 45件/年 |

※「農業求人アプリ」とは、アプリ（農業バイトアプリ）を介して農業者と求職者を1日単位で結びつけるサービスです。

##### ②就農体験による新規就農者や法人就農者の定着・確保への支援

教育機関との連携による就業体験を通じた新規就農者や法人就農者の定着・確保への支援を行います。

| 目標                  | 令和6年度実績 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 |
|---------------------|---------|-------|-------|-------|
| 教育機関との<br>連携による就業体験 | —       | 計画    | 実施    | 実施    |

# 1 地域農業振興計画

## ③JA職員の副業許可スキームの体制整備による農作業支援

JA職員の副業許可体制の整備による農作業支援を行い職員の農への携わりと大規模経営体への作業支援を行います。

| 目標                          | 令和6年度実績 | 令和7年度            | 令和8年度          | 令和9年度        |
|-----------------------------|---------|------------------|----------------|--------------|
| JA職員の<br>副業許可体制による<br>農作業支援 | —       | 農作業副業許可要領の<br>策定 | 農作業支援の<br>実証試験 | 農作業支援の<br>開始 |

## ▶農業金融サービスの取組み強化

担い手金融リーダーを中心とした体制整備に取組み、資金ニーズに対する融資提案活動を実践します。

| 目標              | 令和6年度実績  | 令和7年度    | 令和8年度    | 令和9年度    |
|-----------------|----------|----------|----------|----------|
| 農業関連融資<br>新規実行額 | 255百万円/年 | 180百万円/年 | 190百万円/年 | 200百万円/年 |

## ▶農業リスク診断によるリスク対策の取組み強化

農業リスク診断により、農業者に対して安心・満足を提供し、農業経営の安定化を図ります。

| 目標      | 令和6年度実績 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 |
|---------|---------|-------|-------|-------|
| 農業リスク診断 | —       | 5件/年  | 10件/年 | 15件/年 |

※「農業リスク診断」とは、農作業中のケガや出荷した農産物の回収などの農業経営を取り巻くリスクに関する説明を行うとともに、そのリスクへの対策状況を診断します。

# 4 次世代をつなぐ青年部組織の活性化

## ▶青年部への加入促進とJA運営への参画促進

青年部員の加入促進を行い、食農教育や学校教育などのJAくらし活動への参画の促進を行います。

| 目標                 | 令和6年度実績 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 |
|--------------------|---------|-------|-------|-------|
| 青年部員の増加<br>(期末部員数) | 22人     | 23人   | 25人   | 30人   |
| JAくらし活動への参画        | —       | 2回/年  | 3回/年  | 5回/年  |

## ▶県域組織への加入支援による次世代のつながり強化

県域での若手農業者同士の相互研鑽やネットワーク作りの促進を行います。

| 目標              | 令和6年度実績 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 |
|-----------------|---------|-------|-------|-------|
| 滋賀県青壮年部<br>への加入 | 未加入     | 加入    | 加入    | 加入    |
| 県内外組織との<br>相互研鑽 | 1回/年    | 3回/年  | 5回/年  | 5回/年  |

組合員の減少や正組合員と准組合員数との構成が変化するなど組織基盤の弱体化とJAの存在感や関心が薄れてきています。こうしたことから、JA利用を通じた「JAのファンづくり・仲間づくり」に取組み、地域に根ざした協同組合としての組織基盤強化に取組みます。

地域農業やJA活動の魅力を発信するため、広報誌やSNSを通じた情報発信により「食・農・地域・JA」の理解醸成の促進を行います。

JAファン獲得に向けて魅力ある教育文化活動を行うなど、次世代につなぐ女性組織の活性化や、女性の活力が発揮されるJA運営と事業への積極的な参画の促進を行います。

地域の将来を担う子どもたちに食農教育の展開により「食」と「農」の大切さを学ぶ場作りや、地域貢献活動を通じて若年世代等の新たなJAファンの拡大に取組みます。

また、暮らしを軸とした総合事業の展開により、組合員・利用者の目線に寄り添ったサービスの提供により、地域に根ざし必要とされるJAを目指します。

### 1 JA利用を通じた「JAの仲間づくり」の実践

#### ▶組合員加入促進活動の展開

組合員家族の組合員加入や、金融事業と連動した加入活動を促進します。

| 目標         | 令和6年度実績        | 令和7年度          | 令和8年度          | 令和9年度          |
|------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 組合員数の維持・拡大 | 新規加入者数<br>363人 | 新規加入者数<br>370人 | 新規加入者数<br>370人 | 新規加入者数<br>370人 |

#### ▶メンバーシップ強化対策として地区別懇談会参加と研修会の開催

地区別懇談会への参加を求めるとともに、組合員・利用者を対象に研修会等の開催により、JA活動・運営への参画を促進します。

| 目標                        | 令和6年度実績 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 |
|---------------------------|---------|-------|-------|-------|
| 地区別懇談会の開催<br>(総代・農業組合長)   | 300人    | 310人  | 320人  | 320人  |
| 准組合員研修会等の<br>開催<br>(参加者数) | 6人      | 20人   | 30人   | 40人   |

#### ▶組合員とのコミュニケーション活動

広報誌「ふれあい」等を活用した意見募集を行い、フィードバックする仕組み作りを促進します。

| 目標          | 令和6年度実績 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 |
|-------------|---------|-------|-------|-------|
| 広報誌を通じた対話活動 | 年12回    | 年12回  | 年12回  | 年12回  |

#### ▶女性役員運営参画の促進

女性の活力が発揮されるJA運営を目指し、事業参画への取組みを促進します。

| 目標      | 令和6年度実績 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 |
|---------|---------|-------|-------|-------|
| 女性役員の割合 | 15%     | 15%以上 | 15%以上 | 15%以上 |

## 2 地域くらし・組織基盤計画

### ▶ 地域と密着した支店協同活動の取組み強化

地域との交流や食農教育活動等のJAらしい活動を通じ、地域に密着した支店づくりを実践します。

| 目標                                              | 令和6年度実績 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 |
|-------------------------------------------------|---------|-------|-------|-------|
| 支店協同活動の実践<br>(地域のイベント参加・<br>食農教育活動・<br>お客様感謝デー) | 27回/年   | 28回/年 | 29回/年 | 30回/年 |

### ▶ 行政・教育機関・生産者と連携した食農教育の展開

小学生を対象に体験型食農教育を実施し、地域の将来を担う子どもたちに「食」と「農」の大切さを学ぶ場を作り、幅広い世代にJAへの理解を深めてもらう取組みを行います。

| 目標                                           | 令和6年度実績 | 令和7年度   | 令和8年度   | 令和9年度   |
|----------------------------------------------|---------|---------|---------|---------|
| 体験みのり隊の実施<br>(親子参加の体験型<br>食農教育)              | 延べ60人/年 | 延べ70人/年 | 延べ70人/年 | 延べ70人/年 |
| 収穫体験の実施<br>(給食センター・小学校・<br>生産者と連携した<br>食農教育) | 2校/年    | 3校/年    | 4校/年    | 4校/年    |

### ▶ 地域貢献活動を通じたJAファンの拡大

行政等の関係機関と連携した地域貢献活動を通じて地域活性化を図ることによって、若年世代等の新たなJAファンの拡大に取組みます。

| 目標        | 令和6年度実績                                        | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 |
|-----------|------------------------------------------------|-------|-------|-------|
| 地域貢献活動の実践 | 米原市・長浜市への<br>防災備蓄品の寄付<br>国スポ・障スポの<br>リハ大会へ米を寄付 | 実践    | 継続強化  | 継続強化  |



さつまいも苗植え (支店協同活動)



米原市防災備蓄品贈呈式

## 2 JA広報活動を通じたJA理解促進の実践

### ▶ 広報活動の充実を通じた食・農・地域・JAの理解醸成の促進

広報誌や日本農業新聞を活用したJA事業・活動・農業情勢の情報発信により、組合員・地域住民の理解を深める活動を展開します。

| 目標                  | 令和6年度実績   | 令和7年度     | 令和8年度     | 令和9年度     |
|---------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 広報誌の発行              | 11,500部/月 | 11,500部/月 | 11,500部/月 | 11,500部/月 |
| 日本農業新聞の普及<br>(購読部数) | 88部/月     | 90部/月     | 92部/月     | 94部/月     |

### ▶ SNS等を活用した積極的な情報発信の展開

対面を中心とした組合員・地域住民とのつながりに加え、SNS等のデジタルメディアでのJA事業・活動の情報発信の強化に取り組めます。

| 目標    | 令和6年度実績 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 |
|-------|---------|-------|-------|-------|
| SNS投稿 | 15件/年   | 24件/年 | 36件/年 | 48件/年 |



Instagram


フォロー  
してね


## 3 JA女性組織の活性化とJA運営への参加促進

### ▶ 次世代につなぐ女性組織の活性化の取組み強化

JAファン獲得に向けて魅力ある教育文化活動を行う中で、次世代層とJAがつながる取組みを強化します。

| 目標                          | 令和6年度実績 | 令和7年度  | 令和8年度  | 令和9年度  |
|-----------------------------|---------|--------|--------|--------|
| #スマイル講座の<br>開催<br>(年間延参加人数) | 547人/年  | 560人/年 | 570人/年 | 580人/年 |

#スマイル講座は、組合員や地域住民の豊かな暮らしづくり、仲間づくりの場として多彩な趣味の講座を実施しています。



クッキング講座



寄せ植え講座

## 2 地域くらし・組織基盤計画

### ▶ 女性組織の組合員加入促進とJA運営参画の促進

女性部や組合員へ加入しやすい環境を整えるために、家の光三誌の活用や普及等でJAファンづくりを行い、JA運営への参加・参画を進めます。

| 目標                    | 令和6年度実績 | 令和7年度  | 令和8年度  | 令和9年度  |
|-----------------------|---------|--------|--------|--------|
| 家の光三誌の活用と普及<br>(購読部数) | 194部/月  | 196部/月 | 198部/月 | 200部/月 |
| 女性部員の増加<br>(期末部員数)    | 163人    | 170人   | 180人   | 190人   |

## 4 くらしを軸とした総合事業の展開

### ▶ 組合員・利用者の目線にたった接点活動によるつながりの強化

組合員・利用者のライフイベントや資産形成ニーズに基づく相談・提案活動を強化します。

| 目標                      | 令和6年度実績 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 |
|-------------------------|---------|-------|-------|-------|
| 年金・相続・<br>資産形成<br>相談会回数 | 9回/年    | 12回/年 | 15回/年 | 17回/年 |

### ▶ 地域密着の金融仲介機能の発揮とサービスの充実

生活関連資金（マイカーローン）の提案により次世代との接点強化に取り組めます。

| 目標               | 令和6年度実績 | 令和7年度  | 令和8年度  | 令和9年度  |
|------------------|---------|--------|--------|--------|
| マイカーローン<br>新規実行額 | 412百万円  | 380百万円 | 390百万円 | 400百万円 |

### ▶ 組合員・利用者に寄り添った共済保障サービスの展開

事業・部門の垣根を超えて、対面・非対面を織り交ぜた組合員・利用者にとって最適・最良な寄り添う活動に取り組めます。

| 目標      | 令和6年度実績   | 令和7年度     | 令和8年度     | 令和9年度     |
|---------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 3Q活動の実践 | 11,234人/年 | 11,000人/年 | 11,000人/年 | 11,000人/年 |

本支店とサービスセンターの連携による事故対応顧客満足度95%以上のサービス展開を行います。

| 目標        | 令和6年度実績 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 |
|-----------|---------|-------|-------|-------|
| 事故対応顧客満足度 | 94%     | 95%以上 | 95%以上 | 95%以上 |

## ▶くらしの支援に向けた生活関連商品と生活燃料の安定供給

安心と信頼ある健康器具などの相談会や展示会の開催による提案活動の拡充や、地域の特色を生かした農産物のPRと提供を行います。また、灯油定期配送システムの更なるサービス拡充により生活燃料の安定供給を行います。

| 目標                       | 令和6年度実績 | 令和7年度                      | 令和8年度              | 令和9年度              |
|--------------------------|---------|----------------------------|--------------------|--------------------|
| 生活関連商品<br>相談会・<br>展示会の開催 | 54回/年   | 56回/年                      | 58回/年              | 60回/年              |
| 地域農産物<br>商品提供            | —       | 関係部署との<br>協議・検討<br>トライアル開始 | 地域農産物PR<br>農産物商品提供 | 地域農産物PR<br>農産物商品提供 |
| 灯油定期配送軒数                 | 270軒    | 280軒                       | 290軒               | 300軒               |

## ▶組合員健康増進活動の取組み強化

「JA健診」の受診促進を強化し、高齢になっても心と身体が元気であるように健康と暮らしを支える活動に取り組めます。

| 目標             | 令和6年度実績 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 |
|----------------|---------|-------|-------|-------|
| JA健診受診者の<br>拡大 | 126人    | 140人  | 145人  | 150人  |
| ふれあいサロンの<br>開催 | 16回/年   | 16回/年 | 17回/年 | 17回/年 |

## ▶訪問介護事業のサービス向上

高齢者の増加に伴う介護ニーズの多様化にきめ細かく対応するため、ヘルパーの介護技術の向上を目指す研修会等を実施します。

| 目標                         | 令和6年度実績                        | 令和7年度                                      | 令和8年度                                      | 令和9年度                                               |
|----------------------------|--------------------------------|--------------------------------------------|--------------------------------------------|-----------------------------------------------------|
| ミーティング・<br>研修・<br>訓練・講習の実施 | ミーティング<br>(12回/年)<br>高齢者虐待防止研修 | ミーティング<br>(12回/年)<br>高齢者虐待防止研修<br>BCP研修・訓練 | ミーティング<br>(12回/年)<br>高齢者虐待防止研修<br>BCP研修・訓練 | ミーティング<br>(12回/年)<br>高齢者虐待防止研修<br>BCP研修・訓練・<br>技術講習 |

### 3 経営基盤の強化

「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」の役割を発揮するためには、健全にかつ持続可能な経営基盤を確立し、信頼される組織運営を行うことが重要となります。

組合員や利用者の減少に加え、他金融サービスとの競合により経営基盤である金融部門の事業損益は5年間で19%減少することに加え、職員数はこの5年間で20%減少していることから、将来にわたってJAが使命を果たしていくためには、経営基盤強化のため事業改革の実践が必要となります。

こうしたことから、持続可能な組織運営のため店舗再編に向けた検討を進めるとともに、営農経済事業の成長・効率化による更なる収支改善に取り組んでまいります。

また、遊休資産の利活用や処分等によりスリムな経営体を実現します。

今後も職員数の減少が懸念される中で、安定的に事業運営できるよう積極的なDX対策を推進することで、「処理はデジタル・対応はアナログ」によりスピーディーかつ丁寧なサービスの提供を行います。

また、内部統制機能の強化を行い、健全で信頼される組織・業務運営を確立いたします。

#### 1 持続可能な経営基盤の確立と事業改革の実践

##### ▶「早期警戒制度」にかかる「自己改革実践サイクル」の実践

収支シミュレーションを活用し、現状分析と将来の収支見込により持続可能な経営基盤の確立を図ります。

| 目標                  | 令和6年度実績       | 令和7年度               | 令和8年度       | 令和9年度       |
|---------------------|---------------|---------------------|-------------|-------------|
| 収支シミュレーションを活用した経営分析 | 収支シミュレーションの作成 | 収支シミュレーションを活用した経営分析 | PDCAサイクルの定着 | PDCAサイクルの定着 |

##### ▶持続可能な組織運営のための組織再編整備(店舗再編構想)

持続可能な組織運営のため店舗再編について検討をします。

| 目標        | 令和6年度実績       | 令和7年度     | 令和8年度     | 令和9年度     |
|-----------|---------------|-----------|-----------|-----------|
| 持続可能な店舗再編 | 伊吹資材センターの営業中止 | 店舗再編構想の検討 | 店舗再編構想の検討 | 店舗再編構想の決定 |

##### ▶遊休不稼働資産の利活用・処分の促進

遊休不稼働資産の利活用や処分・売却を行い、スリムな経営体を実現します。

| 目標             | 令和6年度実績       | 令和7年度      | 令和8年度    | 令和9年度    |
|----------------|---------------|------------|----------|----------|
| 遊休不稼働資産の利活用・処分 | 長浜北部荷受センターの賃貸 | 利活用・処分方針検討 | 利活用・処分売却 | 利活用・処分売却 |

## ▶ 営農経済事業の成長・効率化と経済事業の収支改善

### ① 近隣JAとの育苗事業における事業間連携の取組み強化

近隣JAへの水稻苗・タマネギ苗の供給拡大により、事業間連携の強化と施設の有効活用を行います。

| 目標       | 令和6年度実績  | 令和7年度    | 令和8年度    | 令和9年度    |
|----------|----------|----------|----------|----------|
| 水稻出芽苗供給数 | 50,000箱  | 55,000箱  | 57,000箱  | 60,000箱  |
| タマネギ苗供給数 | 3,792トレイ | 4,800トレイ | 5,000トレイ | 5,200トレイ |

### ② コールセンター設置による購買受注業務の集約化

コールセンター設置による利便性の向上と購買受注業務の集約化による業務の効率化を行います。

| 目標               | 令和6年度実績 | 令和7年度   | 令和8年度 | 令和9年度 |
|------------------|---------|---------|-------|-------|
| コールセンター<br>設置・稼働 | システム検討  | 体制整備・稼働 | 稼働    | 運用強化  |

## 2 デジタル活用による事業の効率化の確立

### ▶ 業務効率化に向けたシステムの高度化

ペーパーレス会議システムにより内部会議資料のペーパーレス化による印刷コスト削減と会議準備時間の短縮による人的コストを削減します。

また、事務の効率化と決裁業務の迅速化や内部統制強化のため、ワークフローシステムを導入します。

| 目標                                     | 令和6年度実績             | 令和7年度           | 令和8年度           | 令和9年度           |
|----------------------------------------|---------------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| ペーパーレス会議<br>システムの<br>利用促進等による<br>消耗品削減 | ペーパーレス会議<br>システムの導入 | 令和6年度<br>対比△3%減 | 令和6年度<br>対比△5%減 | 令和6年度<br>対比△7%減 |
| ワークフロー<br>システムの導入<br>(電子決裁システム)        | —                   | 検討              | 準備              | 導入              |

### ▶ デジタル活用による事業改革の実践

#### ① WEB端末での相談機能導入による業務の効率化

本支店間のWEB端末を利用した来店者への専門的な金融相談を実施し、本支店間の業務の効率化を行います。

| 目標             | 令和6年度実績 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 |
|----------------|---------|-------|-------|-------|
| WEB相談機能の<br>導入 | 試験導入    | 導入    | 運用    | 定着    |

### 3 経営基盤の強化

#### ②JAバンクアプリ等の普及拡大による利便性向上

JAバンクアプリ・JAバンクアプリプラスの提案活動により、デジタル・キャッシュレス利用の普及拡大に取り組めます。

| 目標       |                     | 令和6年度実績 | 令和7年度  | 令和8年度  | 令和9年度  |
|----------|---------------------|---------|--------|--------|--------|
| 契約<br>件数 | JAバンク<br>アプリ        | 1,714件  | 2,000件 | 2,300件 | 2,600件 |
|          | JAバンク<br>アプリ<br>プラス | 1,886件  | 2,100件 | 2,300件 | 2,500件 |

※「JAバンクアプリ」とは、通帳を持ち歩く必要が無く、口座残高や入出金の明細が確認できるアプリです。

※「JAバンクアプリプラス」とは、振込・振替や定期貯金の預け入れ、住所変更手続きなどが行えるアプリです。(JAネットバンクを含む)



#### ③ラブレッツ専用端末機による共済事務手続の普及・強化

ラブレッツ専用端末機による共済事務手続の普及・強化により、契約手続の簡便化とスピーディーな請求手続きを推進します。

| 目標                           | 令和6年度実績 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 |
|------------------------------|---------|-------|-------|-------|
| ペーパーレス<br>手続契約率<br>(長期共済新契約) | 79%     | 84%   | 88%   | 90%   |

#### ④FarmingPress(ファーマングプレス)の利用普及とサービス利用の推進強化

WEBを活用したFarmingPressの利用普及とサービス機能の普及拡大により利便性の向上を行います。

| 目標                     | 令和6年度実績 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 |
|------------------------|---------|-------|-------|-------|
| FarmingPress<br>利用登録者数 | 209人    | 250人  | 300人  | 350人  |
| デジタルサービス<br>利用申込延べ件数   | 174件    | 200件  | 500件  | 900件  |
| WEB予約注文<br>利用件数        | 28件     | 100件  | 150件  | 200件  |
| WEB当用注文<br>システムの構築     | —       | 準備・検討 | トライアル | 実践    |

※「FarmingPress」とは、農業に関する情報を発信し、JAと利用者の皆様とのコミュニケーション手段となることを目的としたサービスで、農業所得申告支援資料のインターネット閲覧・データダウンロードを始めJAから配布される各種通知書をWEBでいつでもどこでも確認することができます。

また、生産資材のWEB予約申込などのサービスがあります。

※「デジタルサービス」とは、通知書などの紙媒体に変わる電子通知受取サービスです。電子化により、ペーパーレス化を推進します。



### ⑤公式LINEの普及と迅速な営農情報発信の強化

公式LINE「営農タイムリー」の普及推進と迅速な営農情報発信の強化を行います。

| 目標     | 令和6年度実績   | 令和7年度     | 令和8年度     | 令和9年度     |
|--------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 利用登録者数 | 370人      | 400人      | 450人      | 500人      |
| 情報配信件数 | 13,041通/年 | 24,000通/年 | 27,000通/年 | 30,000通/年 |

## LINE公式アカウント × JAレーク伊吹

JAレーク伊吹の農家の方々へタイムリーな営農情報をお伝えします。

こんな情報を発信していきます！

- グリーンレポート
- 農作物の病害虫発生
- 病害虫防除情報・肥料農薬商品情報
- 農作業安全啓発情報 etc…



こちらの二次元コードを読みこんでください。▶

### ⑥LINEWORKSによる迅速な情報発信や個別事業提案の強化

LINE機能を活用した迅速な情報発信や個別事業提案の強化を行います。

| 目標        | 令和6年度実績  | 令和7年度    | 令和8年度    | 令和9年度    |
|-----------|----------|----------|----------|----------|
| 利用登録者数    | 194人     | 210人     | 230人     | 250人     |
| 情報収集・発信件数 | 2,000件/年 | 3,800件/年 | 4,000件/年 | 4,500件/年 |

※「LINEWORKS」とは、LINEのような使いやすさで誰でもすぐに使えるビジネス版LINEで、セキュリティ環境でスピード感のある会話やスムーズな情報共有ができるツールです。

### ⑦WEB出荷契約システムの導入による事務軽減と事業管理費の削減

WEB出荷契約システムの導入による契約手続きの利便性の向上と事業管理費の削減を行います。

| 目標                         | 令和6年度実績                  | 令和7年度                   | 令和8年度                  | 令和9年度               |
|----------------------------|--------------------------|-------------------------|------------------------|---------------------|
| WEB出荷契約システムの導入<br>(延べ利用件数) | 麦・大豆<br>トライアル導入<br>(50件) | 麦・大豆<br>実践・強化<br>(100件) | 米<br>トライアル導入<br>(200件) | 米<br>普及拡大<br>(350件) |

### ⑧青果物集出荷システムの導入による業務の効率化

クラウドサービスを活用し生産者との出荷計画や出荷情報をデジタル化による情報共有と業務効率化を行います。

| 目標           | 令和6年度実績 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 |
|--------------|---------|-------|-------|-------|
| 青果物集出荷システム導入 | 検討      | トライアル | 実施    | 実施    |

### 3 経営基盤の強化

#### ⑨園芸生産者へのnimaruJAの普及拡大

園芸生産者への迅速な営農情報の配信や対話ツールを利用したコミュニケーションの強化や、市場や販売先とのタイムリーな情報共有を行います。

| 目標                    | 令和6年度実績 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 |
|-----------------------|---------|-------|-------|-------|
| nimaruJA<br>園芸生産者登録者数 | 77人     | 80人   | 100人  | 120人  |

#### ⑩教育文化活動におけるnimaruJAの普及拡大

「くらしの活動」などのお知らせをタイムリーに情報発信し、コミュニケーションの充実に取組みます。

| 目標                     | 令和6年度実績 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 |
|------------------------|---------|-------|-------|-------|
| nimaruJA<br>くらしの活動登録者数 | 93人     | 110人  | 130人  | 150人  |

※「nimaruJA」とは、LINEを使って幅広い年齢層の組合員や関係機関などへ、タイムリーな営農情報や各種研修会案内など、スピーディーに情報伝達できる配信ツールです。

### 3 信頼される組織・運営の実践

#### ▶内部監査機能の充実によるコンプライアンス態勢の強化

3線モデル体制の機能強化により内部統制やガバナンスの強化を行います。

| 目標              | 令和6年度実績 | 令和7年度   | 令和8年度   | 令和9年度   |
|-----------------|---------|---------|---------|---------|
| 3線モデル実効化の<br>検証 | 体制の理解   | 体制状況の検証 | 体制実践の検証 | 体制強化の検証 |

※「3線モデル体制」とは、組織を1線（現業部門）、2線（リスク管理部門等）、3線（内部監査部門）に分け、内部統制やガバナンスを強化し、リスクを有効的に管理するための仕組みです。

#### ▶リスク管理の高度化による信頼される組織運営の実践

所管部署によるリスクコントロールの強化および組織内において総合的リスクの情報を共有します。

| 目標                                    | 令和6年度実績                | 令和7年度              | 令和8年度                | 令和9年度                |
|---------------------------------------|------------------------|--------------------|----------------------|----------------------|
| 内部統制システム<br>基本方針に<br>基づく内部統制の<br>適正運用 | 内部統制の<br>PDCAを<br>検証評価 | 「取組確認表」の<br>効率的な運用 | 「取組確認表」の<br>効率的な運用強化 | 「取組確認表」の<br>効率的な運用強化 |

※「取組確認表」とは、内部統制システム基本方針の取組内容を要点ごとに確認するものです。

組合員・利用者満足の向上をめざし、経営環境の変化に対応できる人づくりを行うため、人財を「資本」として捉え、その価値を最大限に引き出すことで、中長期的な組織基盤の確立を行います。

また、今日の離職者増・採用難の時代における人財確保に向け、JAらしいオープンカンパニーなどによる採用活動に取組むとともに、職員が仕事を通じてやりがいのある職場づくりとエンゲージメント向上に取組んでまいります。

協同組合理念や経営理念をもとに、地域や組合員に必要とされる職員の育成を目指すため、「協同組合人」としての基本に立ち、日々の業務において理念を実践できる人づくりと、高度化する組合員・利用者ニーズに対応できる専門性を持った職員の教育に取組みます。

働きやすく活き活きとした職場づくりに向けた職場風土づくりと、若手職員の育成・定着に結びつく人事・労務諸制度の見直し運用により、職員の意識改革と能力向上に取組みます。

## 1 働きやすく支え合う職場づくりの実践

### ▶ 職員間のコミュニケーション、職員のエンゲージメントを高める取組み強化

上司と部下とのコミュニケーション機会を増やし、職員が仕事を通じて、やりがいや達成感が感じられる職場づくりに取組みます。

| 目標                                           | 令和6年度実績        | 令和7年度                                                            | 令和8年度                                      | 令和9年度                                      |
|----------------------------------------------|----------------|------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------|--------------------------------------------|
| 働きがいがあり、<br>活力ある<br>職場づくり、<br>エンゲージメント<br>向上 | 職員満足度調査の<br>実施 | ・所属長による<br>マネジメント強化<br>・役職員間の意見交換<br>の場づくり<br>・エンゲージメント調査<br>の実施 | ・所属長による<br>マネジメント強化<br>・役職員間の意見交換<br>の場づくり | ・所属長による<br>マネジメント強化<br>・役職員間の意見交換<br>の場づくり |

## 2 JA経営・協同組合運動を支える人財育成の実践

### ▶ 協同組合人としての職員育成

協同組合理念や経営理念に共有し、組合員との話し合いの活性化を通じて、地域や組合員に必要とされる職員の育成を目指します。

| 目標                           | 令和6年度実績 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 |
|------------------------------|---------|-------|-------|-------|
| 協同組合人を学ぶ<br>研修会<br>(研修会参加人数) | 11人/年   | 20人/年 | 25人/年 | 30人/年 |

## 4 人づくり計画

### ▶ 組合員・利用者から必要とされる専門的な職員の育成

人づくり基本方針の見直しを行い、多様な組合員ニーズに対応でき、今後の事業戦略を展開する上で必要な専門職員（デジタル人材、課題解決型人材、ファシリテーション能力を有する人材）を育成します。

| 目標                                 | 令和6年度実績           | 令和7年度                    | 令和8年度                    | 令和9年度                    |
|------------------------------------|-------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 組合員・利用者からの相談対応や提案活動が出来る専門職員、後継者の育成 | 連合会等の専門・課題別研修への参加 | 人づくり基本方針に基づいた専門・課題別の研修参加 | 人づくり基本方針に基づいた専門・課題別の研修参加 | 人づくり基本方針に基づいた専門・課題別の研修参加 |

### ▶ 営農指導員・JA農業経営コンサルティング資格の計画的な取得

営農指導員・JA農業経営コンサルティング資格の計画的な資格取得により営農担当者の資質向上を行います。

| 目標                | 令和6年度実績 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 |
|-------------------|---------|-------|-------|-------|
| 営農指導員資格者          | 30人     | 27人   | 28人   | 30人   |
| JA農業経営コンサルティング受講者 | 3人      | 4人    | 5人    | 5人    |

### ▶ 施設担当職員に必要な資格の取得とプラントメンテナンス職員の後任育成による人材確保

施設担当職員に必要な資格の取得とプラントメンテナンス専門職員の後任育成を行います。

| 目標                                      | 令和6年度実績 | 令和7年度      | 令和8年度      | 令和9年度            |
|-----------------------------------------|---------|------------|------------|------------------|
| 乾燥設備作業主任者                               | 6人      | 7人         | 8人         | 9人               |
| プラントメンテナンス専門職員の後任育成とJA間連携による人材確保に向けた取組み | 2人      | 近隣JAとの協議検討 | 近隣JAとの協議検討 | プラントメンテナンス体制の再整備 |

### ▶ コンプライアンス・人権意識の向上

コンプライアンス、人権、ハラスメント意識の強化を行います。

| 目標                                | 令和6年度実績                                                                                      | 令和7年度                                                                                                                | 令和8年度                                                                                        | 令和9年度                                                                                                                |
|-----------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| コンプライアンスの遵守、人権意識の高揚、ハラスメントの無い職場風土 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・全職員研修会の実施（年1回）</li> <li>・各部署別研修（各部署12回/年）</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・全職員研修会の実施（年1回）</li> <li>・ハラスメント研修（年1回）</li> <li>・各部署別研修（各部署12回/年）</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・全職員研修会の実施（年1回）</li> <li>・各部署別研修（各部署12回/年）</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・全職員研修会の実施（年1回）</li> <li>・ハラスメント研修（年1回）</li> <li>・各部署別研修（各部署12回/年）</li> </ul> |

### 3 人財確保難における人事制度の確立

#### ▶新規・中途採用職員の採用活動強化

既存の採用活動にとらわれず、就職サイト・WEB等を積極的に活用するなど、採用活動の多様化を促進します。

| 目標                         | 令和6年度実績         | 令和7年度                                     | 令和8年度                   | 令和9年度                      |
|----------------------------|-----------------|-------------------------------------------|-------------------------|----------------------------|
| 採用の早期化、<br>内定者への<br>接点活動強化 | オープンカンパニー<br>実施 | 対面とWEBを活用した<br>事業説明会・<br>採用活動・<br>内定者フォロー | オープンカンパニー実施<br>(就業体験実施) | オープンカンパニー実施<br>(複数プログラム実施) |

#### ▶トータル人事制度の導入および定着

職員の仕事に対するモチベーションの低下を防止するとともに、地域や組合員に必要とされる職員が適正に評価される仕組みを構築し、職員の意識改革と能力向上に取り組めます。

| 目標                            | 令和6年度実績                               | 令和7年度  | 令和8年度                  | 令和9年度      |
|-------------------------------|---------------------------------------|--------|------------------------|------------|
| 外部講師を活用した<br>職員の意識改革、<br>能力向上 | 職員満足度調査による<br>課題認識、<br>職員研修会<br>(全6回) | 考課者研修会 | トータル人事制度<br>説明会、考課者研修会 | 定着化に向けた研修会 |
| トータル人事制度の<br>設計・運用・定着         | —                                     | 設計     | 設計・導入準備                | 運用・定着      |

※「トータル人事制度」とは、人づくり基本方針を策定した上で、等級・人事考課・報酬制度・人材育成などの人事制度をトータルで構築していく制度です。

## 主要事業計画（目標）

### 信用事業

（単位：千円）

|         | 令和7年度       | 令和8年度       | 令和9年度       |
|---------|-------------|-------------|-------------|
| 貯 金     | 143,925,000 | 145,004,000 | 146,092,000 |
| 貸 出 金   | 19,246,000  | 18,546,000  | 18,846,000  |
| 預 金     | 107,808,000 | 108,543,800 | 109,287,000 |
| 有 価 証 券 | 21,311,000  | 21,486,000  | 21,661,000  |

### 共済事業

（単位：千円）

|               | 令和7年度       | 令和8年度       | 令和9年度       |
|---------------|-------------|-------------|-------------|
| 長 期 共 済 保 有 高 | 242,685,900 | 234,612,300 | 209,220,600 |
| 年 金 共 済 保 有 高 | 2,716,000   | 2,625,000   | 2,341,000   |
| 短 期 共 済 掛 金   | 575,900     | 577,000     | 567,800     |

### 購買事業

（単位：千円）

|             | 令和7年度   | 令和8年度   | 令和9年度   |
|-------------|---------|---------|---------|
| 購 買 品 取 扱 高 | 生 産 資 材 | 628,000 | 640,100 |
|             | 生 活 物 資 | 213,000 | 217,000 |
|             | 合 計     | 841,000 | 857,100 |

### 販売事業

（単位：千円）

|             | 令和7年度  | 令和8年度     | 令和9年度     |
|-------------|--------|-----------|-----------|
| 販 売 品 販 売 高 | 米      | 1,100,000 | 1,320,000 |
|             | 麦・雑穀豆類 | 76,000    | 92,000    |
|             | 野 菜    | 100,000   | 105,000   |
|             | 果 実    | 48,000    | 50,000    |
|             | 花 き 類  | 7,000     | 7,500     |
|             | 合 計    | 1,331,000 | 1,574,500 |

### 利用事業

（単位：ト・箱・本）

|               | 令和7年度     | 令和8年度     | 令和9年度     |
|---------------|-----------|-----------|-----------|
| 米 荷 受 重 量     | 2,800     | 2,900     | 3,000     |
| 水 稻 育 苗 箱 数   | 182,000   | 186,000   | 190,000   |
| 園 芸 苗 育 苗 本 数 | 5,402,350 | 5,413,350 | 5,424,350 |

総合損益計画

(単位：千円)

| 項目      |          | 令和7年度     | 令和8年度     | 令和9年度     |
|---------|----------|-----------|-----------|-----------|
| 事業総利益   | 信用事業総利益  | 712,000   | 717,500   | 717,000   |
|         | 共済事業総利益  | 392,700   | 382,600   | 369,500   |
|         | 購買事業総利益  | 65,000    | 62,300    | 63,700    |
|         | 販売事業総利益  | 101,500   | 114,800   | 125,500   |
|         | 保管事業総利益  | 6,000     | 6,000     | 6,000     |
|         | 加工事業総利益  | 1,000     | 1,000     | 1,000     |
|         | 利用事業総利益  | 87,800    | 99,650    | 106,650   |
|         | その他事業総利益 | 6,000     | 5,900     | 5,700     |
|         | 指導事業収支差額 | △16,600   | △16,600   | △16,600   |
|         | 計        | 1,355,400 | 1,373,150 | 1,378,450 |
| 事業管理費   | 人件費      | 1,055,600 | 1,071,100 | 1,127,100 |
|         | 業務費      | 80,500    | 76,500    | 70,400    |
|         | 諸税負担金    | 42,000    | 42,000    | 42,000    |
|         | 施設費      | 157,400   | 139,900   | 128,300   |
|         | その他事業管理費 | 7,000     | 6,800     | 6,700     |
| 計       |          | 1,342,500 | 1,336,300 | 1,374,500 |
| 事業利益    |          | 12,900    | 36,850    | 3,950     |
| 事業外収益   |          | 95,000    | 95,000    | 95,000    |
| 事業外費用   |          | 9,000     | 9,000     | 7,000     |
| 経常利益    |          | 98,900    | 122,850   | 91,950    |
| 特別利益    |          | 0         | 0         | 0         |
| 特別損失    |          | 0         | 0         | 0         |
| 税引前当期利益 |          | 98,900    | 122,850   | 91,950    |
| 法人税等    |          | 19,000    | 22,000    | 18,000    |
| 当期剰余金   |          | 79,900    | 100,850   | 73,950    |

# JAレーク伊吹自己改革工程表

JAレーク伊吹は、令和4年度より組合員との対話に基づいて、農家組合員の所得増大と農業生産の拡大を目指す「持続可能な食料・農業基盤の確立」・地域の活性化を目指す「持続可能な地域・暮らし・組合員組織基盤の確立」・不断の自己改革の実践を支える経営基盤の強化を基本目標とする自己改革の実践に全力で取り組んできました。また、自己改革実践サイクルの取組みとして、組合員の声をふまえ、数値目標を含んだ自己改革の実践の具体的な取組み等を毎年度の総代会で決定することで、着実に取り組んでいます。

令和7年度からは、組合員との対話をふまえ、農家組合員の所得増大に向けての取組みを展開し、経営基盤強化や組合員との対話・意思反映の取組みも進めることで、自己改革のさらなる深化を進めます。

今後とも、地域になくてはならないJAであり続けるため、組合員との徹底した対話を通じ、改革の取組みと成果について評価を把握し、次の改革につなげることで、PDCAサイクルを回し、総合事業を基本として「不断の自己改革」を着実に実践します。

## 農家組合員の所得増大・農業生産の拡大の取組みについて

農家組合員の所得増大（農家組合員の売上増加・コスト低減）につながる次の取組みについて、目標及び実践具体策を策定し、実践します。

1. 需要に応じた農産物づくりと水田フル活用の推進
2. 収入（量・単価）の拡大と支出（コスト）抑制への取組み強化
3. 需要のある園芸作物の生産振興

## 地域の活性化の取組みについて

「地域の活性化」に向けては、次のことに取組みます。

1. 組合員加入促進活動の展開
2. 地域と密着した支店協同活動の取組み強化
3. 行政・教育機関・生産者と連携した食農教育の展開
4. 次世代につなぐ女性組織の活性化の取組み強化
5. 組合員健康増進活動の取組み強化
6. 組合員・利用者の目線にたった接点活動によるつながりの強化

## JA経営基盤の確立・強化の取組みについて

JAとして5年後の収支シミュレーションを行ったところ、5年後には現状と比べて事業利益が減少するものの一定水準を確保できる見通しとなりました。これまで行ってきた自己改革および経営基盤強化を通じた事業改革の成果が見られる一方で、事業総利益の減少が継続する収支構造自体に変わりはなく、5年後のその先を見通して先手先手の事業改革に取り組んでいく必要があります。

自己改革を支えるJA経営基盤を確保するために、販売力の強化を通じた事業伸長やデジタル活用による事業の効率化、経済事業の収支改善施策、店舗等機能再編の事業改革に取り組むことで、健全で持続性のある経営を確立することが緊急の課題となっています。

## 組合員との対話・意思反映について

自己改革の実践にあたっては、改革の評価の把握に向けたTAC・営農経済渉外員を中心とした多様な担い手農家への訪問のみならず、LA（ライフアドバイザー）・信用渉外による組合員訪問活動、全職員による広報誌配布を実践していきます。

さらには、准組合員総代の仕組みを通じて「正組合員とともに、地域農業や地域経済の発展を支える組合員」である准組合員の声も聴くことで、正組合員と准組合員が一体となったJA運営を実現します。

また、農業振興の応援団でもある准組合員の事業利用にあたっては、信用事業（貯金）で34.3%、共済事業で26.1%、購買事業で21.9%となっており、JA事業運営の安定化に大きく寄与しています。引き続き正・准組合員の利用状況を把握し、地域住民の農業・生活に必要な支援機関としての役割を果たしていきます。

〈重点目標〉

〈成果指標・目標値〉

| 農家組合員の所得増大・農業生産の拡大            |                                     |                                                                                   |                                                                                   |                                                                                   |                                                                                     |
|-------------------------------|-------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| 重点施策                          | 行動計画                                | 令和6年度実績                                                                           | 令和7年度                                                                             | 令和8年度                                                                             | 令和9年度                                                                               |
| 需要に応じた農産物づくりと水田フル活用の推進        | 主食用米の集荷販売促進と麦大豆や水田活用米穀等による水田フル活用を推進 | 主食用米：2,994ト<br>水田活用米穀：349ト<br>飼料用米：580ト<br>ファイバースノウ：431ト<br>びわほなみ：704ト<br>大豆：168ト | 主食用米：3,000ト<br>水田活用米穀：250ト<br>飼料用米：450ト<br>ファイバースノウ：400ト<br>びわほなみ：800ト<br>大豆：250ト | 主食用米：3,600ト<br>水田活用米穀：250ト<br>飼料用米：450ト<br>ファイバースノウ：430ト<br>びわほなみ：900ト<br>大豆：350ト | 主食用米：3,900ト<br>水田活用米穀：250ト<br>飼料用米：450ト<br>ファイバースノウ：450ト<br>びわほなみ：1,000ト<br>大豆：450ト |
| 収入（量・単価）の拡大と支出（コスト）抑制への取り組み強化 | 農作業の省力化と労働力の分散に向けた生産技術の検証           | —                                                                                 | 水稻乾田直播<br>10ha                                                                    | 水稻乾田直播<br>15ha                                                                    | 水稻乾田直播<br>20ha                                                                      |
|                               | 需要のある業務用米の作付提案と生産販売マッチング強化          | ほしじるし：230ト<br>きぬむすめ：67ト<br>ZR1：11ト                                                | ほしじるし：300ト<br>きぬむすめ：90ト<br>ZR1：30ト                                                | ほしじるし：400ト<br>きぬむすめ：100ト<br>ZR1：60ト                                               | ほしじるし：500ト<br>きぬむすめ：120ト<br>ZR1：100ト                                                |
|                               | 麦類（大麦・小麦）の多収に向けた取り組み                | ファイバースノウ<br>単収：234kg/10a<br>1等比率：84%                                              | ファイバースノウ<br>単収：250kg/10a<br>1等比率：85%                                              | ファイバースノウ<br>単収：300kg/10a<br>1等比率：85%                                              | ファイバースノウ<br>単収：350 kg/10a<br>1等比率：85%                                               |
|                               |                                     | びわほなみ<br>単収：181kg/10a<br>1等比率：88%                                                 | びわほなみ<br>単収：200kg/10a<br>1等比率：90%                                                 | びわほなみ<br>単収：250kg/10a<br>1等比率：90%                                                 | びわほなみ<br>単収：350 kg/10a<br>1等比率：90%                                                  |
|                               | 極多収大豆品種の作付提案と栽培技術の確立                | そらたかく：1.8ト                                                                        | そらたかく：15ト                                                                         | そらたかく：30ト                                                                         | そらたかく：60ト                                                                           |
|                               | 肥料等の銘柄集約による低価格な生産資材の拡張              | 全国銘柄集約<br>6,000袋                                                                  | 全国銘柄集約<br>6,500袋                                                                  | 全国銘柄集約<br>7,000袋                                                                  | 全国銘柄集約<br>7,500袋                                                                    |
|                               |                                     | 県域銘柄集約<br>23,000袋                                                                 | 県域銘柄集約<br>26,000袋                                                                 | 県域銘柄集約<br>27,000袋                                                                 | 県域銘柄集約<br>28,000袋                                                                   |
|                               | 農薬の大型規格提案によるコスト低減                   | 1,128ha                                                                           | 1,250ha                                                                           | 1,300ha                                                                           | 1,350ha                                                                             |
|                               | 水田自動給水機の普及拡大による作業時間の削減              | 31台                                                                               | 35台                                                                               | 45台                                                                               | 55台                                                                                 |

| 重点施策           | 行動計画                                 | 令和6年度実績                                            | 令和7年度                                              | 令和8年度                                               | 令和9年度                                               |
|----------------|--------------------------------------|----------------------------------------------------|----------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|
| 需要のある園芸作物の生産振興 | 信頼される加工業務用野菜を中心とした産地づくりと新たな品目による生産振興 | タマネギ：570トン<br>ブロッコリー：116トン<br>白ねぎ：50トン<br>トレビス：2トン | タマネギ：650トン<br>ブロッコリー：100トン<br>白ねぎ：90トン<br>トレビス：3トン | タマネギ：700トン<br>ブロッコリー：120トン<br>白ねぎ：100トン<br>トレビス：4トン | タマネギ：750トン<br>ブロッコリー：150トン<br>白ねぎ：120トン<br>トレビス：5トン |
|                | 多様な担い手による「花卉」の生産振興                   | プチマム(短茎小菊)<br>90,000本                              | プチマム(短茎小菊)<br>100,000本                             | プチマム(短茎小菊)<br>110,000本                              | プチマム(短茎小菊)<br>120,000本                              |
|                |                                      | 切り花ハボタン・<br>リンドウ<br>46,000本                        | 切り花ハボタン・<br>リンドウ<br>48,000本                        | 切り花ハボタン・<br>リンドウ<br>55,000本                         | 切り花ハボタン・<br>リンドウ<br>70,000本                         |
|                | 「みおしずく」の新規取組者の拡充と生産振興                | 生産者数：10人<br>栽培面積：3,000㎡                            | 生産者数：13人<br>栽培面積：4,800㎡                            | 生産者数：14人<br>栽培面積：6,000㎡                             | 生産者数：15人<br>栽培面積：7,500㎡                             |

| 地域の活性化                       |                                     |                |                |                |                |
|------------------------------|-------------------------------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 重点施策                         | 行動計画                                | 令和6年度実績        | 令和7年度          | 令和8年度          | 令和9年度          |
| 組合員加入促進活動の展開                 | 組合員家族の組合員加入や、金融事業と連動した加入活動          | 新規加入者数<br>363人 | 新規加入者数<br>370人 | 新規加入者数<br>370人 | 新規加入者数<br>370人 |
| 地域と密着した支店協同活動の取組み強化          | 支店協同活動の実践（地域のイベント参加・食農教育活動・お客様感謝デー） | 27回/年          | 28回/年          | 29回/年          | 30回/年          |
| 行政・教育機関・生産者と連携した食農教育の展開      | 体験みのり隊の実施（親子参加の体験型・食農教育）            | 延べ60人/年        | 延べ70人/年        | 延べ70人/年        | 延べ70人/年        |
|                              | 収穫体験の実施（給食センター・小学校・生産者と連携した食農教育）    | 2校/年           | 3校/年           | 4校/年           | 4校/年           |
| 次世代につなぐ女性組織の活性化の取組み強化        | #スマイル講座の開催                          | 547人/年         | 560人/年         | 570人/年         | 580人/年         |
| 組合員健康増進活動の取組み強化              | JA健診受診者の拡大                          | 126人           | 140人           | 145人           | 150人           |
|                              | ふれあいサロンの開催                          | 16回/年          | 16回/年          | 17回/年          | 17回/年          |
| 組合員・利用者の目線にたった接点活動によるつながりの強化 | 組合員・利用者のライフイベントや資産形成ニーズに基づく相談会      | 9回/年           | 12回/年          | 15回/年          | 17回/年          |

## JA経営基盤の確立・強化

| 重点施策                    | 行動計画                           | 令和6年度実績       | 令和7年度      | 令和8年度     | 令和9年度     |
|-------------------------|--------------------------------|---------------|------------|-----------|-----------|
| 持続可能な組織運営のための組織再編整備     | 店舗再編構想の検討                      | 伊吹資材センターの営業中止 | 店舗再編構想の検討  | 店舗再編構想の検討 | 店舗再編構想の決定 |
| 遊休不稼働資産の利活用・処分の促進       | 遊休不稼働資産の利活用や処分・売却を行い、スリムな経営を実現 | 長浜北部荷受センターの賃貸 | 利活用・処分方針検討 | 利活用・処分売却  | 利活用・処分売却  |
| 営農経済事業の成長・効率化と経済事業の収支改善 | 近隣JAとの育苗事業における事業間連携の取組み強化      | 50,000箱       | 55,000箱    | 57,000箱   | 60,000箱   |
|                         | コールセンター設置による購買受注業務の集約化         | システム検討        | 体制整備・稼働    | 稼働        | 運用強化      |

## 組合員の意志反映〔アクティブ・メンバーシップ対策〕

| 重点施策                        | 行動計画               | 令和6年度実績                          | 令和7年度                             | 令和8年度                             | 令和9年度                             |
|-----------------------------|--------------------|----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| メンバーシップ強化対策として地区別懇談会と研修会の開催 | 地区別懇談会と准組合員研修会等の開催 | 地区別懇談会<br>300人<br>准組合員研修会等<br>6人 | 地区別懇談会<br>310人<br>准組合員研修会等<br>20人 | 地区別懇談会<br>320人<br>准組合員研修会等<br>30人 | 地区別懇談会<br>320人<br>准組合員研修会等<br>40人 |
| 青年部への加入促進とJA運営への参画促進        | 青年部員の増加<br>(期末部員数) | 22人                              | 23人                               | 25人                               | 30人                               |
| 女性組織の組合員加入促進とJA運営参画の促進      | 女性部員の増加<br>(期末部員数) | 163人                             | 170人                              | 180人                              | 190人                              |
| 組合員訪問                       | 毎月発行の広報誌「ふれあい」配布   | 11,500部/月                        | 11,500部/月                         | 11,500部/月                         | 11,500部/月                         |
| 組合員とのコミュニケーション活動            | 広報誌を通じた対話活動        | 年12回                             | 年12回                              | 年12回                              | 年12回                              |



## レーク伊吹農業協同組合

琵琶湖と伊吹山に囲まれたJAレーク伊吹は  
人と自然と街を愛で優しく包みます

〒 521-0062 滋賀県米原市宇賀野 280 番地 1

TEL.0749-52-6520

URL:<https://www.lakeibuki.jas.or.jp>

E-mail:[kikaku@lakeibuki.jas.or.jp](mailto:kikaku@lakeibuki.jas.or.jp)